

エイチ・オー・エス 64bit ネイティブ動作に対応した帳票ツール新製品

2015年10月21日

帳票開発ツール「シーオーリポート」の開発・販売を行っている、株式会社エイチ・オー・エス(名古屋市、代表取締役 服部達郎)は、帳票開発ツールの新バージョン「シーオーリポート Ver.11」を10月15日に発売いたしました。

「シーオーリポート」は、帳票レイアウトの作成から帳票の生成、印刷、プレビューを行うことのできる帳票開発ツールです。帳票レイアウトを作成するための「フォームエディタ」、各種プログラム言語から利用するための「描画モジュール」、HOS 独自形式の帳票ファイル(以下、ドキュメントファイル)をプレビュー・印刷するための「ビューアー」及び「ビューコントロール」を提供しています。

シーオーリポート Ver.11 では、従来製品である シーオーリポート Ver.10 との互換性を保つつつ、新しく 64bit ネイティブ動作する「描画モジュール」「ビューコントロール」などが追加されています。このため、シーオーリポート Ver.10 を利用したアプリケーションを 64bit ネイティブアプリケーションに対応させることができます。

また、「rsi」形式ファイルの出力にも対応しました。「rsi」形式ファイルとは、ファイルサイズが非常にコンパクトなドキュメントファイルです。保管のためのディスク容量を抑えられるのはもちろん、通信データ量も減るので、スマートフォンやタブレット、MacOS などでプレビュー・印刷を行う際にも、より負荷の少ないシステムを構築しやすくなりました。さらに、「シーオーリポート 帳票管理サーバ」と組み合わせることで、帳票の作成から共有、閲覧、印刷、削除まで帳票システムに必要な機能全般をカバーできます。

■ 64bit 版 ActiveX コントロールの追加

旧バージョン製品の「描画モジュール」は、32bit のコントロールのみの提供であったため、64bitOS 上で使用する場合は「アプリケーションを 32bit モードで動作させる」設定を行う必要がありました。

シーオーリポート Ver.11 では、64bit の ActiveX コントロールが追加され、64bit ネイティブアプリケーションの開発でも使用できるようになりました。

■ 「rsi」形式のドキュメントファイル出力の追加

シーオーリポート Ver.11 では、旧バージョン製品で出力可能な「cid」形式、「rsx」形式に加え、「rsi」形式のドキュメントファイルを出力できるようになりました。

「rsi」形式のファイルは、付属のビューアー・ビューコントロールの他、「シーオーリポート ビューアー」の Android 版や iOS 版、JavaFX 版でもプレビューや印刷ができます。

■ フォームファイル比較ツールの追加

「フォームファイル比較ツール」は、シーオーリポートに含まれる「フォームエディタ」で作成する帳票レイアウトファイルを比較する開発支援ツールです。

2つの帳票レイアウトファイルを比較して相違点を色分け表示することができます。帳票出力の仕様変更時に、仕様変更前と仕様変更後の帳票レイアウトを比較し、GUI 上で仕様変更箇所の確認ができるなど、2つの帳票レイアウトファイルの差異を容易に確認することができます。

※ 「シーオーリポート Ver.11」およびその他の当社製品の体験版は、当社サイトからダウンロードできます。

エイチ・オー・エスについて

1988年12月設立。1995年3月 Windows 用帳票開発ツール「シーオーリポート」を発表。その後、20年間に渡り、国産帳票ツール「シーオーリポート」シリーズを開発、販売している。

「シーオーリポート」シリーズは、帳票機能を実現するミドルウェア。ランタイムを除く出荷ライセンスは、累計 30,000 本超の販売実績があり、品質と機能に厳しい金融、生損保、医療、自治体、官公庁などのお客様に長年に渡り利用されている。また、医療、会計、BI、EDI 等の分野の著名パッケージ製品の帳票機能としても「シーオーリポート」シリーズが採用されている。



株式会社 エイチ・オー・エス

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目 7 番 1 号 べんてんビル 4F

TEL (052) 683-7102 <http://www.hos.co.jp/>